

各 位

上場会社名 静甲株式会社
 代表者 取締役社長 鈴木恵子
 (コード番号 6286)
 問合せ先責任者 取締役 中村元保
 (TEL 054-366-1106)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 8 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	11,400	40	70	130
今回発表予想 (B)	11,225	△3	30	101
増減額 (B-A)	△175	△43	△40	△29
増減率 (%)	△1.5%	—	△57.1%	△22.3%
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	11,550	87	122	71

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A)	24,900	420	470	300
今回発表予想 (B)	24,200	270	330	225
増減額 (B-A)	△700	△150	△140	△75
増減率 (%)	△2.8%	△35.7%	△29.8%	△25.0%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	25,859	405	470	212

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,000	40	100	170
今回発表予想 (B)	4,620	9	72	148
増減額 (B-A)	△380	△31	△28	△22
増減率 (%)	△7.6%	△77.5%	△28.0%	△12.9%
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	5,124	79	149	99

平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A)	10,600	210	310	290
今回発表予想 (B)	10,200	100	200	220
増減額 (B-A)	△400	△110	△110	△70
増減率 (%)	△3.8%	△52.4%	△35.5%	△24.1%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	11,918	149	253	151

修正の理由

1. 第2四半期累計期間の業績予想修正について

産業機械事業では、10月以降に売上時期がずれ込んだ物件が発生したため売上高が減少し、また利益面でも価格競争による受注価格の低下により業績が落ち込んでおります。これまで増勢を維持してきた冷間鍛造事業および電機機器事業においては、冷間鍛造事業で納入先メーカーの輸出鈍化により電動工具部品および自動車部品が減速し、電機機器事業では景気後退の影響から県内製造業向けのF A関連機器の販売が減速して、両事業ともに高い水準を保ちつつも弱含みで推移しました。車両関係事業においては、連結子会社の静岡スバル自動車株式会社が、ほぼ当初予想に近い業績となる見込みであります。

以上の結果、グループ全体では産業機械事業の落ち込みをカバーするには至らず、売上高の減少に伴い利益も前回発表の連結業績予想を下回る見込みであります。

なお、個別業績予想の修正につきましても、連結業績予想と同様の理由によるものであります。

2. 通期の業績予想修正について

産業機械事業において売上がずれ込んだ物件は、当連結会計年度中に販売の見通しであります。しかしながら、第2四半期累計期間の業績が予想を下回る見込みとなったことに加えて、今後も景気後退の進行により、当社グループの各事業においても市場環境は更に厳しさを増すことが予想されることから、連結および個別の売上高、利益共に前回発表の予想を下回る見込みであります。

以上